

外国語教育推進事業について

1 概要

南相馬市の児童・生徒の語学力向上と国際理解教育の推進を目的に、令和5年度に引き続き、語学習得度に合わせた学習支援を行っています。

小学校においては、令和4年度から小高小学校でモデル事業として実施してきたフォニックス学習をすべての小学校へ導入するとともに、中学校においては、ALTDAYの実施やALTを常駐させることにより、英語を話す実践の機会を確保します。

また、幼稚園・保育園においては、これまで行ってきたALTとの外国語による交流のほか、えいご発音あそびを実施し、幼保・小・中一貫した切れ目のない外国語教育を推進します。

2 事業

(1) 英語検定支援（対象：中学生全員）

国の第4期教育振興基本計画で掲げられている目標（令和9年度時点の中学校卒業段階で英検3級程度以上を達成する生徒割合60%以上）を早期に達成するため、市内中学生全員を対象に英検受験料の支援を行っています。

想定する学年ごとの受験級 中1：5級受験、中2：4級受験、中3：3級受験

○支援実績

・第1回検定分 2級1名、準2級2名、3級3名、4級3名、5級2名 合計11名

(2) 英語教員研修（対象：小学校英語教員4名）《モデル事業》

令和5年度に引き続き英語教育の推進のために教員の指導力強化は不可欠であることから、モデル事業として小学校教員の英語研修を支援しています。

○支援実績

・ブリティッシュ・ヒルズ教員研修（8/19～8/20） 小学校教員4名参加

(3) ALT配置（12名【※市雇用2名＋派遣10名】）

外国語授業における語学指導のほか、海外文化の紹介による国際理解を深める外国語活動を実施するため、小中学校へALT12名を配置（1～2校/名）しています。

なお、令和6年度から継続的な指導体制を構築するため、市雇用ALTを1名増員するとともに、中学校へALTを常駐させています。

(4) ALTによるALTDAY（対象：中学1年生）

令和6年度よりブリティッシュ・ヒルズ日帰り研修に替えて、中学1年生を対象とし、ALTを集中派遣するALTDAYを実施します。

ALTDAYは、10名程度のALTを中学校へ集中派遣いただき、ALTの出身国に関するワークショップやゲームなどを英語のレッスンを交えながら各中学校での実施を予定しています。（9月から順次実施予定）

（５）外国語教育推進アドバイザー

令和５年度に引き続き、外国語教育の効果的な学習方法の構築や推進を図るため、株式会社 J Institute 代表取締役 CEO 齊藤 淳氏に外国語教育推進アドバイザーを依頼。

【名称】南相馬市外国語教育推進アドバイザー

【職務】・フォニックス学習を含む外国語授業に係る助言

- ・外国語教育の効果的な推進方法に係る提案
- ・外国語教育に係る講演会講師
- ・その他南相馬市の外国語教育に係る助言・提案

（６）中学校における T G G 研修《モデル事業》

小高中学校３年生を対象に体験型英語学習施設である TOKYO Global Gateway における英語研修を実施した。海外の日常生活シーンを想定した様々なプログラムの体験を通して、英語を話す実践の機会を得ることで、英語学習の意欲向上を図っています。

○研修実績

- ・ T G G 研修（4/19 実施） 小高中学校３年生 12 名参加

（７）小学生の英検 Jr 受験支援

小高小学校児童の英語能力の達成度を測るため、小学５～６年生を対象に英検 Jr 受験料の支援を行います。

想定する学年ごとの受験級 小５：Silver 受検、小６：Gold 受検

※「英検 Jr」とは、児童の英語能力の調査・研究を目的に、英語に親しみ、外国の文化を理解することを目標に 94 年に英検協会が開発した児童向けの育成型リスニングテスト。

3 つのレベルで構成され、成績は合否ではなく正答率で表示される。

（８）㈱アイティソルブとの業務委託による英語発音あそび指導

令和５年度に引き続き、㈱アイティソルブとの業務委託により、幼児期の英語発音教育を行うため、市内公立幼稚園及び保育園にて英語発音あそびを実施する。

導入２年目となる令和６年度においては、令和５年度において園児への指導経験のある保育士・幼稚園教諭（指導者）らが、令和６年度に在籍する幼稚園又は保育園にて引き続き英語発音あそびの指導を行う。その間も引き続き保育士・幼稚園教諭（指導者）らへのトレーニングを継続する。

また、新たに保育士・幼稚園教諭（指導者）に英語発音指導（指導者育成）を行い、園児への指導につなげていきます。

（９）小学校におけるフォニックス学習

令和４年度からモデル事業として小高小学校において取組んできたフォニックス学習について、市内小学校へ拡大・導入している。

○導入実績

- ・小高小学校 Grade 1～6 を導入（導入３年度目のため）

- ・小高小学校以外 Grade 1～2を導入

(10) フォニックス学習導入に合わせた英語図書（多読図書）の導入

フォニックス学習と合わせ、気軽に英語に触れられる環境を整えるため、市内小学校に多読用図書（例：Oxford Reading Tree シリーズ）を購入します。

※「Oxford Reading Tree」とは、英国のオックスフォード大学出版が出版する英語学習用絵本であり、英国の8割の小学校で教科書として活用されている図書。10段階にレベル分けされ、頻繁に使う表現が繰り返されるため、英語学習用教材として最適とされている。